

本科 9月18日(木)

### 第31回講座 里海・里沼の保全論

講師 林 紀男氏 (千葉県立中央博物館生態学・環境研究科 主任上席研究員)

日時 9月18日(木) 13:00~15:00

場所 県立中央博物館 講堂及び生態園

#### テーマは、里沼の水環境保全の取り組み

千葉県の代表的な里沼である印旛沼に異常発生した藍藻類アオコの紹介で始まった今回の講座では、林紀男講師が視察で訪れた世界各地の里海・里沼の水質汚染の状況が紹介された。そして水草などの植生やミジンコなどの水生昆虫が里沼の水環境保全に果たす役割とその取り組みについて紹介された。講義の後、生態実験園の水草栽培水槽を案内していただき、沈水植物の育成の様子やその中に生息する水生昆虫を観察した。ミジンコを見つけたガシャモクの水槽では、「このガシャモクを印旛沼へ移植したいですね」との講師の言葉が印象に残った講座であった。



印旛沼をはじめ世界各地の里沼で水質汚染により藍藻類アオコなどが異常発生している。



千葉県の形をした日本で初めての生態園を林講師の案内で観察。



生態実験園では40以上の水槽などでガシャモク、ヒツジグサ、オニバス、コウガイモなどの水草が栽培されていた。



ガシャモクの水槽ではミジンコ(ダフニア?)の生息を観察した。